

## 京都市観光振興審議会 部会

### 主な御意見

日 時 平成26年6月30日（月）午前10時～正午

会 場 本能寺会館5階 雁

- ・ 「感動」, 「あこがれ」は必要なキーワードであり, 引き続き「感動」にこだわるべきである。
- ・ 具体的な「あこがれ」でもらう内容を検討するべき。
- ・ 市民ぐるみのオール京都で取り組むことを更に明確に示すことが必要である。
- ・ 目標を市民や事業者等を含めて共有して取り組む姿勢が必要である。
- ・ 観光消費額1兆円の目標数値は, きちんと積み上げるべきである。
- ・ 観光事業者のビジネス力を鼓舞する意味での目標設定が必要である。
- ・ 観光と産業・文化との関係性を再構築し, 観光における文化の側面の見直しが必要である。
- ・ 先を見据えた特定地域の重点的な観光地化, 新たな地域づくりを行っていくべき。
- ・ MICEの産学官民連携の強化, ワンストップ窓口の設置, MICE誘致のビジネス化等が必要である。
- ・ オール京都で多くの人を巻き込んで創り上げ, 実行する計画にしなければならない。
- ・ 京都観光の本質は「歩いて楽しいまち」である。「歩くまち」にこだわった位置付けがほしい。
- ・ 言語環境整備等のインバウンド向け受入環境整備を2020年を目指して集中的・重点的に行う必要がある。
- ・ 学生ガイドの活用など, 大学との連携による更なる取組の強化・充実が必要である。
- ・ 道路ネットワーク網の充実による新たな地域との広域連携が必要である。
- ・ 事業者向けの統計データの整備・充実が必要である。